

KIT 同窓会近畿支部 (KIT-KINKI)

近畿支部支部長 河島博

近畿支部は、同窓会活動の活性化を目指して、近畿2府4県におられる本学卒業生を対象として始めました。平成26年2月9日の設立総会に始まり、同窓生の豊富な体験、活躍、知らない逸話など、年3回のセミナーを主な活動とし、支部会員相互の親睦を図り、京都工芸繊維大学の発展にも寄与することを目的として運営してきております。

今まで8回のセミナーを開催致しました。とりあげました分野は「 繊維、化粧品、都市開発、電子、建築、自動車設備、医学、スポーツ用品、伝統工芸、リフォーム建築 」と、多くの分野にわたり、異業種のために全く知らなかったエピソードや、他では聞けない初めて耳にする話の連続でした。

近畿支部では、これからも皆様のご協力を頂きながら、進んでいくつもりです。

行事案内は、KIT 同窓会ホームページへ掲載と KIT-KINKI 事務局からのメール配信を主とし、Fax でも配信しております。配信のご希望は事務局(下記)までご連絡を願います。

メール ; [chizuhiro58<at>yaho.co.jp](mailto:chizuhiro58@yaho.co.jp) (<at>を@に置き換えて下さい)、Fax ; 066-614-4878

京都工芸繊維大学同窓会 近畿支部役員 4月23日の総会で承認されました。☆は新任です。

幹事・支部長	;	☆ 河島 博 (昭45年機織卒)	
幹事・副支部長	;	三浦 啓巳 (昭37年機織卒)	多賀谷美伸 (昭40年生産機械卒)、
		谷垣 弘明 (昭43年製紡卒)	澤野井裕文 (昭49年繊維工学卒)
		吉羽 哲郎 (昭48年意匠卒)	
幹 事	;	☆ 杉本 一郎 (昭49年繊維工学卒) ☆ 出澤 雄二 (昭51年意匠卒)、	
		☆ 松田寿美子 (昭53年養蚕卒) ☆ 岩元美由紀 (平27年博後期卒)	
監 事	;	坪井 弘光 (昭33年機織卒)	森實 弘司 (平18年博後期卒)
顧 問	;	☆ 前川 輝彦 (昭35年織化卒) ☆ 小角 亨 (昭36年建築卒)	
		☆ 森本 一成 (昭53年電子院卒) ☆ 土井 健司 (昭35年織化卒)	

平成29年度 近畿支部 総会・セミナー・懇親会

4月23日(日) 開催済

(1) 祝辞

京都工芸繊維大学学長代行として、森肇副学長様へ出席を頂き、現在の大学の近況や、グローバル化が今後益々進んでいくことや、今後同窓会に期待されることについてなどのお話しを頂きました。

(2) セミナー



(講師 八田逝治様)



京都工芸繊維大学同窓会近畿支部 第4回総会 平成29(2017)年4月23日(日) 於 ホテル プリムローズ大阪



持参頂きました
伝統工芸品の中の一つ
茶筒

昭和49年に機械工学科を卒業され、京都市染織試験場に就職されました。その後、「京都伝統産業ふれあい館」館長として、京都を中心とした伝統産業の育成保護に努めてこられました**八田誠治様** に「**伝統産業って？（京都が元祖？）**」のタイトルで講演頂きました。

京都では10代続いてやっとな老舗と言えるなどの永い歴史を持った会社がある。又、その会社の技能、商売をつぐために、女子が生まれれば喜び、優秀な従業員の中から婿を選んで継がすなど、世襲を避けて優秀な人に継がしていく傾向があったとの話に驚きました。

次に「伝統産業とは？」の意味を教わりました。それぞれの土地で昔からの技術を使って作られ続けてきた織物、染物、焼物、仏壇、仏具、漆器、木工品、人形などを伝統工芸品と言い、これを生産する産業を伝統産業とよぶとのこと。伝統産業は、古いものを伝える他にその良さを引き継いでいく役目を担っている。写真の茶筒は約130の工程を経たもので、海外で美術品としてでない用途で輸出など、その他多くのお話を頂きました。国家としても、昭和49年に法律を作って指定されたものには「**伝統マーク**」をつけて保護されているとの説明もありました。

京都へ行かれる機会がありましたら「京都市美術館」近くの、「みやこメッセ地下1階」の「伝統産業ふれあい館」へ是非お立ち寄りをお勧め致します。

平成29年度ミニセミナー（第8回セミナー）

7月22日（土）開催済

「株式会社コンパス建築工房」の代表取締役で、母校で非常勤講師をされています**一級建築士 西濱浩次様** に【**造る時代から・残す時代へー魅力の再生 リフォーム術ー**】

のタイトルで講演を「大阪歴史博物館」研修室で開催致しました。

<西濱様のプロフィールを下記に紹介致します>

1978年に京都工芸繊維大学住環境学科卒業、建設会社、設計事務所を経て1987年に西濱建築事務所を設立され、1993年にコンパス建築工房に改組。2001年より母校で非常勤講師、2016年より日本建築家協会の大阪地域会長。「大阪ハウジングデザイン賞」「奈良景観調和デザイン賞」「堺市景観賞」他、受賞多数。テレビ番組「大改造！劇的ビフォーアフター」で、歪んだ家、牛舎の家、光の届かない学校など、匠として7度出演。



（講演会風景）



（昼食会風景）

左奥の席で談笑されていますのが西濱先生、その向いの女性は、西濱先生のお嬢様で、平成22年に博士前期デザイン経営を卒業され、今は独立して起業されました。

数多くの具体例を提示して頂きつつ講演を頂きました。個人住宅、集合住宅、公共施設でもリフォームの目的を明確にし、誰が住み、これからの住まいの使い方（何人で暮らすか、子供はいなくなるか、将来子供の家族が使うのか、どんな対象で住まいをレイアウトするのか、今の住居の的確な強度、その他）について明確な夢ある計画を立てることが大切との主旨がよく理解できました。たいへん役立つお話の連続で感動の授業でした。

平成29年度ミニセミナー（第9回セミナー）

12月 未定 日（土）開催予定

10月下旬には詳細を案内の予定です。

今回は繊維・高分子分野で、皆さまの興味を持って頂けるテーマで開催の準備に入っております。